

# 保育者論

## 1. 担当教員

- ・ 名前: 上岡 紀美(うえおか きみ)

## 2. 授業の目的

### (1) 授業の目的

保育者(保育士)の意義と役割を知るとともに、保育観の基礎形成をはかる。

### (2) 到達目標

- ① 保育士の意義と役割を知る。
- ② 保育観の基礎的形成をはかる。
- ③ 専門性を追求する。

### (3) ディプロマポリシーとの関連

人間発達学科のディプロマポリシー「2.保育士、幼稚園教諭、小学校教諭の取得を目指す学生は、専門教育課程を通し、資格取得にとどまらず、よりよい職業人としての基礎を身につけること」に基づき、特に教職(幼稚園)にまつわる知識と倫理の獲得を目指す科目である。

## 3. 授業の概要

保育者の資質、社会的使命、責務に関して理解を深めます。乳幼児期の子どもと関わる保育者にとって、子どもと「ともにいる」とは、どのような意味を持つのでしょうか。授業を通して、子どもを理解し、一人ひとりの個性や発達に見合った育ちの援助について考えていきます。また、保育の専門家としての在り方を事例を通して学びます。さらには、保護者支援に関する課題と支援方法に関してコミュニケーション論を交えて考えます。

## 4. 授業計画と予習・復習の内容及び必要な時間

回	テーマ・内容		予習・復習
1	オリエンテーション	授業概要の説明	
2	保育士の意義と役割	保育士とは	配布資料を読む
3	保育士の職務内容	保育所・施設保育士について	〃
4	保育観のありよう	保育観とそのあり方	自分の意見をまとめる
5	発達理解	子どもを観るとは	指針を読む
6	キャリア形成①	発達の連続性について	配布資料を読む
7	〃 ②	自分史作成	製作課題
8	〃 ③	〃	〃
9	〃 ④	〃	〃
10	保育実践について	現場を知る	観察実習調べ学習
11	〃	遊びの協同者とは	あやとり・折り紙を練習する
12	保育士の専門性①	専門性とは	自分の意見をまとめる
13	〃 ②	保護者支援	〃

## シラバス(公開版)

14	〃	③	内部・外部研修	〃
15	まとめ(保育所実習希望調査実施)			

---

※ 授業の展開によっては、変更の可能性があります。変更の場合には随時お知らせします。

### 5. 評価方法(テスト、レポート、課題等へのフィードバックの方法も含む)

- ・受講態度(50%):授業への参加意欲、出席状況を含む。
- ・課題・テスト(50%):レポート課題の提出、保育技術の獲得状況等を含めて総合的に判断する。

### 6. 履修上の注意

受講に際して、心配や不安なことがある場合は、必ず2回目の授業までに担当者に申し出てください。